

柴北川プロジェクト通信 11号

平成22年6月19日(土)

本号は、平成22年6月19日(土)に開催された『花いっぱい長谷まつり』の話題をご紹介します。

1. 『花いっぱい長谷まつり』の概要

『花いっぱい長谷まつり』は、柴北川を愛する会の主催で、文字通り豊後大野市の長谷地区を舞台に、平成22年6月19日(土)の朝10時から夕方5時近くまで開催されました。我々、共助研も共催という形で携わらせて頂きました。当日は、柴北川を愛する会、長谷探検隊、黒松 family 青年会、長谷地区の皆さん、大野川流域ネットワークの皆さんとともに、共助研メンバーも参加しました。

－ 『花いっぱい長谷まつり』プログラム－

午前の部：松巖寺橋 会場

・田植え(視点場前たんぼにて)

午後の部：旧長谷小学校体育館 会場

進行 渡邊事務局長

1. 開会

- ・主催者あいさつ 実行委員長 大塚松信氏
- ・来賓あいさつ 豊後大野市長 橋本祐輔氏

2. 報告会

- ・「花いっぱいのふる里づくり」事業 共助研(波多野)
- ・探検報告 長谷探検隊
- ・跡地利用アンケート結果 跡地利用検討委員会
- ・青年会活動 黒松 Family 青年会
- ・視点場愛称決定・表彰 黒松 Family 青年会
(休憩)

3. ふる里づくりワークショップ

- ・3班に分かれてワークショップ
「長谷の宝物」、「花いっぱい」、「長谷での暮らし」

4. 活動発表会

- ・長谷3B体操クラブ

5. ミニコンサート

- ・共助研(ギター演奏;矢ヶ部、ピアノ演奏;武市)
- ・全員(長谷小学校校歌、今日の日はさようなら斉唱)

6. 閉会あいさつ 渡邊事務局長

2. 参加レポート

それでは、共助研メンバーの『花いっぱい長谷まつり』当日の行動を、順を追ってレポートします。

集合は朝7時!

10時から田植えが始まるということで、福岡から参加する共助研メンバー(矢ヶ部さん、木寺さん、前田さん、濱田さん、武市さんと武市さんのお母さま、平井の7名)は、博多駅周辺に7時に集合しました。やはりちょっと眠かったですね。前田さん、濱田さん運転お疲れ様でした。

行き道は、スイスイで会場には割と早く着きました。



会場の旧長谷小学校に到着

思ったより重労働だった田植え!

会場に到着後、田植えルックに着替えて、歩いて視点場前の会場に向かいました。会場に着くと、地元の方を中心に既に集まっていました。

福岡出発組が到着後も徐々に参加者が増えてほどなく予定の時間になりました。田植え経験のほとんど無いメンバーは、レクチャーを素直に聞き、いざ本番へ。

真っ直ぐ植えていくためのロープに並んで、田植えが始まりました。



みなまじめに田植え。まだ始まったばかり

田んぼの形が正方形でないこともあり、だんだん人が少なくなって大変になった人もいました。木寺さん、前田さん、大変でしたよね。腰が痛くなりませんでしたか？



ノルマが増えてきた人も……。

天気予報が外れて、晴れ間も出たせいか、終わる頃にはみな汗だくでした。ただ、皆さんまじめに取り組んだこともあり、予定通り田植えが終了しました。皆さんお疲れ様でした。

ひとつ、忘れてはいけないのが、準備してくれた多くの方への感謝です。我々は全てお膳立てされたところからの参加ですが、田植えをするためには色々と準備が必要なんですね。ほんとに感謝です。



田植えの後はラムネが飛ぶように売れました。

しばし休憩のお弁当タイム！

田植えの後は、ドロ汚れを川で落とし、小学校体育

館へ移動。お待ちかねお弁当タイムです。

体育館内でお弁当を買って、しばしご歓談です。矢ヶ部さんは早めに食事をされて、この後のミニコンサートに向けて指ならしをされていました。



体育館内で販売していたお弁当 (500円)

いよいよ午後の部のスタート！

市長あいさつ。ただ残念ながら……。

来賓として豊後大野市長があいさつされました。ただ、残念ながら口蹄疫からみの新聞報道等への対応のため、すぐに公務に戻られました。次回は発表も聞いていってください。



豊後大野市長のあいさつ

まずは、「花いっぱいふる里づくり事業」の報告！

お弁当も食べ終わって、いよいよ午後の部が開始。先頭をきって、波多野さんが昨年度取り組んだ「花いっぱいふる里づくり事業」の報告をしました。

主に、山桜の資源調査と視点場整備、長谷地区のワークショップの活動報告を行いました。



共助研のホープ波多野さんによる報告

参加人数2人でちょっぴり残念、探検隊からの報告！

続いては、長谷探検隊からの報告です。ただ、残念なことにイベントが重なって、2人だけの参加でした。すこし残念でしたが仕方ありませんね。

ただ、発表内容は大人に負けていないどころか、一番上手だったのではないのでしょうか。将来が楽しみな二人です。



いちばんしっかり報告してくれました

旧小学校はどうなるの？ アンケート報告！

続いて、跡地利用検討委員会の穴見事務局長から、



校舎、特別教室、体育館、グラウンドの利用方法に関するアンケート結果について報告がありました。

穴見事務局長からの報告

活動範囲を広げるか？ 青年会の報告！

続いて、黒松 Family 青年会の安藤会長から、黒松ファミリー青年会の活動状況について報告がありました。字の看板設置、盆踊り関連事業、もちつき大会、交流会、ぶろく開設・運営など、色々地道に取り組まれています。これからもガンバってください。

また、黒松 Family 青年会から、視点場愛称決定の発表&表彰もありました。

17 個の愛称が提出され、その中から次の3つ（松巖寺さくら公園、せせらぎ公園、さくら見台）が上位同数で選ばれ、この3つの中から選考委員が選考し「松巖寺さくら公園」に決定しました。



黒松 Family 青年会の発表／視点場愛称決定受賞の様様

やさしいおじさん達が活躍？ ワークショップ！

共助研の波木事務局長から、ワークショップの進め方の説明の後、「長谷の宝物」「花いっぱい」「長谷での暮らし」の3つのテーブルに分かれて、意見交換が行われました。

「長谷の宝物」は前田さん、「花いっぱい」は木寺さん、「長谷での暮らし」は波多野さんが案内役に、話を進めていきました。

どのテーブルも、皆さん活発な議論がされていたようです。また、皆さんが長谷を思って話しているときの表情は、それを見ただけで心が洗われるような、純粋な笑顔でした。



意見交換中の皆さん

約1時間グループ毎に意見交換がされた後、各グループの代表者から、発表が行われました。



各グループ代表者からの発表

時間が足りなくてごめんなさい、3B体操！

続いては、日頃の成果をみせましょう、ということ3B体操が披露されました。ただ、でちょっと時間が

おしてきまして、3B体操の時間が少し削られていました。予定のメニューを少しカットして頂いたようです。すみませんでした。



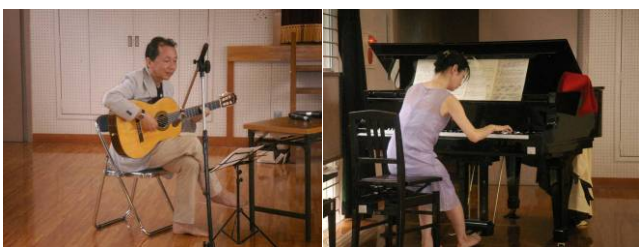
3B体操

意外と緊張？ ミニコンサート！

続いては、お待ちかねミニコンサート。はじめは、朝から指ならしに精を出していた矢ヶ部さんのガットギター。少し緊張していたと自分でおっしゃっていましたが、みなさん聞き入ってましたよ。

矢ヶ部さんに続いて武市さんのピアノ演奏。矢ヶ部さんに負けず、きれいなメロディを奏でてくれました。

お二方ともどうもありがとうございました。



ミニコンサート（矢ヶ部さん／武市さん）

世代や地域の垣根を越えた合唱！

続いて、全員で長谷小学校の校歌を斉唱。共助研メンバーにとって、特に筆者にとっては、初めて歌う校歌。なかなか上手く歌えず、ちょっと悔しさも覚えつつ、何とか終えました。

次は、「今日の日はさようなら」。これならわかると、張り切って歌いました。周りを見渡すと、同じような表情に少し安堵したように記憶しています。



全員で合唱



長谷小学校校歌（体育館の壁にある歌詞）

最後にうるる、渡邊さん！

少し予定の時間は過ぎましたが、「花いっぱい長谷まつり」もついに閉会を迎えました。閉会のあいさつでは、渡邊さんの目から光るものが、色々ご苦労されたこと、逆に嬉しかったことが、思い出されたのでしよう。我々もぐっと来るものがありました。



渡邊さんの目から光るものが…。

3. 『花いっぱい長谷まつり』を終えて

「花いっぱい長谷まつり」は貴重な経験をしました。筆者にとっては初めての長谷でした。田植も生まれて初めてでした。何より、まつりを通して、長谷の皆さんの純粋で一生懸命な姿には感動を覚えました。

これからも共助研の活動を通じて、またふれあえる機会を楽しみにしています。次は、稲刈り？その前に草むしりでしょうか？

（文責：平井）